

未来を夢で終わらせない



学校法人 のしろ文化学園



秋田しらかみ看護学院

Akita Shirakami Institute Of Nursing

GUIDE IN SCHOOL

学院案内



秋田しらかみ看護学院は、同じ目的を持った仲間が一同に集い、助け合い、互いにたたえ励まし合い、学院生活を過ごし成長することができます。

平成10年に開学、以来その卒業生、在校生の姿は何事にも代えがたい素晴らしいことです。

学院では、最新の設備・教材等を揃え、優秀な教職員が一丸となり、将来「看護師になりたい」という学生に寄り添い、学業に専念できる環境を整えています。

皆さんが入学されることを歓迎し、「看護師」という人の命に携わる尊い「夢の実現」を一緒に目指しましょう。

「心からお待ちしております」

理事長 山本 実



「看護師」は患者さんと家族、地域の皆さまに寄り添い、尊い命と暮らしを守る専門職で、やりがいと魅力のある

仕事です。少子高齢化にあり、医療の現場で共に働く仲間が必要とされています。充実したカリキュラムと経験豊かな教員の指導で、自ら学ぶことの喜びを実感して、日々成長しましょう。

ここ、秋田しらかみ看護学院で「看護師」を目指し、仲間と共に学びましょう。皆さまをお待ちしています。

学院長 近藤 美喜

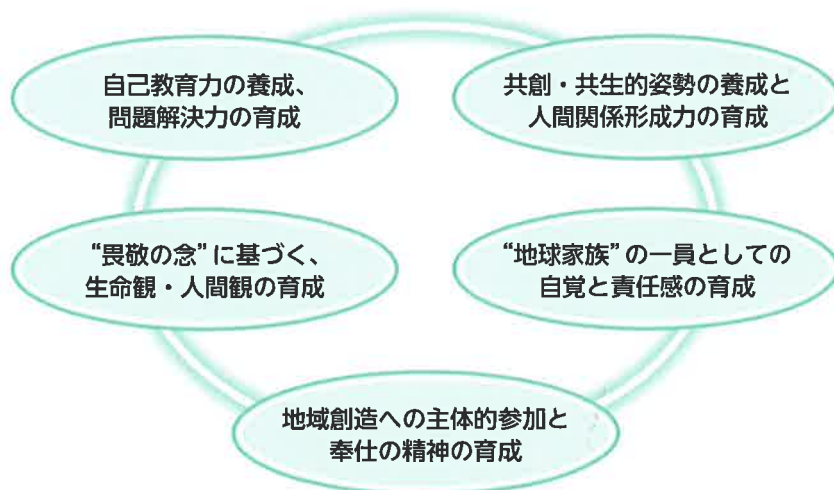
教育理念

社会構造の急速な変化、殊にも激進する高齢化に伴う「医療・保健・福祉」の問題は、今日の日本社会が直面している最大課題のひとつである。

本学院は、この時代的要請に応え、「いのちとその尊厳を護るはたらき」のフロントに気概をもって立ち、高度な医療・保健・福祉に対応できる確かな知識と実践力そして倫理観を備えた看護師の養成を教育の根本とする。

建学の精神

本学院は、畏敬の念に立ち、「看護専門職として人道を実践する人間」、すなわち、「医療施設看護にあわせ、特に、時代的要請である在宅看護の担い手として地域社会に仕えると共に、国際的・地球的連帯意識をもって人類に仕える看護職」を育成する。その目的実現のため下記の達成を期する。



■ 学院の特徴

- 国家試験、就職率100%の実績
- 実習記録用紙の電子化
- 1年次より国家試験対策
- 実習施設がすべて通学可能圏
- 教員の丁寧な指導
- 充実した環境・設備

■ 教育目的

いのちの尊厳と人権を護り、看護専門職として必要な知識と実践力をもって変化する地域社会に貢献できる看護師の育成を目的とする

■ 教育目標

1. 看護の対象者である人間を統合的に捉え、生活者として理解する
2. 専門職業人として、看護倫理に基づいて看護を実践する基礎的能力を養う
3. 人々の健康上の課題に対応するため、科学的根拠に基づいた看護を実践する基礎的能力を養う
4. 社会を取り巻く情勢を理解し、地域で暮らす人々の健康の保持・増進、疾病予防、回復を目指した看護を実践する基礎的能力を養う
5. 他職種との役割を理解し、多職種と連携・協働するための基礎的能力を養う
6. 看護専門職として、探求心を持って学び続ける力を養う

■ アドミッションポリシー

1. 本学への入学を強く志し、看護職として働きたいという明確な意思をもっている
2. 人に関心を持ち、人に向き合い、人の心を理解し、相手を尊重している
3. さまざまな価値観を受け入れ、人と関わるための努力ができる
4. 協調性があり、誠実に行動できる
5. 主体的に学んでいこうとする意欲と姿勢、創造力がある
6. さまざまな活動や人と交流する場に積極的に参加できる
7. 看護を学ぶ上で必要な基礎学力がある



ボランティア
(秋田しらかみ看護学院 消防団)

■ 期待する卒業生像

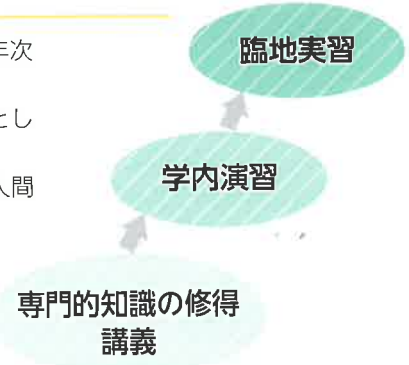
1. 対象者（人間）を統合的（＝身体的・心理的・社会的・文化的側面）に理解している
2. 看護職として人に対する尊厳を重んじた行動ができる基礎的能力を持っている
3. 科学的な根拠に基づき、健康問題を解決する能力を持っている
4. 地域における健康課題と看護の機能や役割を理解している
5. 保健・医療・福祉チームの一員として看護師の役割と責任、連携・協働の必要性について理解している
6. 看護職として成長していくために主体的に学習する姿勢がある

学校法人の

秋田しらかみ看護学院

カリキュラムポリシー

1. 本学院のカリキュラムは、人間理解と倫理観を軸に基礎分野、専門基礎分野、専門分野を1年次から系統的に学べる構造とする。
2. 「基礎分野」では、看護の対象である「人間」について深く学び、社会人基礎力および看護者としての教養や倫理観を育成するための科目設定とする。
3. 「専門基礎分野」では、専門分野を学ぶ上で必要な解剖学や疾病論といった医学的知識と人間の生活を守るための法律や福祉について学ぶ。
4. 「専門分野」は、看護の統合と実践の場として、地域で生活する人々の健康の保持増進を援助するために「地域・在宅看護論」を配置、ライフサイクル別に「小児」、「成人」、「老年」を学ぶ。生涯にわたっての健康を支援する科目として「母性」「精神」を構成した。
5. 「講義」「演習」「実習」を通して、看護職として必要な人間性と倫理観を育成し、基礎的知識と技術を獲得できるカリキュラムとする。



1年次			2年次			3年次				
基礎分野	科学的思考の基礎	<ul style="list-style-type: none"> 文章表現 情報科学 倫理学 社会と生活 人間関係論 コミュニケーション論 心理学 教育学 環境科学 人間発達学 	基礎看護学	<ul style="list-style-type: none"> 診療の補助技術 与薬・診察検査処置 看護過程Ⅰ 看護過程Ⅱ 演習 	基礎看護学	<ul style="list-style-type: none"> 看護倫理 臨床看護技術 呼吸・循環を整える技術・救命救急処置ほか 看護研究Ⅰ 看護研究の基礎 	基礎看護学	<ul style="list-style-type: none"> 看護研究Ⅱ 演習 		
	人間と生活	<ul style="list-style-type: none"> 英語 クリティカルシンキング 運動とレクリエーション ボランティア論 	地域・在宅看護論	<ul style="list-style-type: none"> 地域・在宅看護論概論Ⅰ 地域・在宅看護論概論Ⅱ 	地域・在宅看護論	<ul style="list-style-type: none"> 方法論Ⅰ 方法論Ⅱ 方法論Ⅲ 	地域・在宅看護論	<ul style="list-style-type: none"> 方法論Ⅳ 		
	社会の理解		成人看護学	<ul style="list-style-type: none"> 成人看護学概論 	成人看護学	<ul style="list-style-type: none"> 方法論Ⅰ 急性期 周手術期 クリティカルケア 方法論Ⅱ 回復期リハビリテーション 方法論Ⅲ慢性期 方法論Ⅳ終末期 方法論Ⅴ看護過程 	統合と実践	<ul style="list-style-type: none"> 国際協力と災害看護 看護管理 看護技術総合 		
専門基礎分野	人体の構造と機能	<ul style="list-style-type: none"> 解剖生理学Ⅰ 解剖生理学Ⅱ 解剖生理学Ⅲ 形態機能学 代謝栄養学 	老年看護学	<ul style="list-style-type: none"> 老年看護学概論 	老年看護学	<ul style="list-style-type: none"> 方法論Ⅰ 方法論Ⅱ 方法論Ⅲ 	専門分野	臨地実習		
	疾病の成り立ちと回復の促進	<ul style="list-style-type: none"> 病理学 感染症と微生物学 疾病論Ⅰ呼吸器 疾病論Ⅱ循環器 疾病論Ⅲ 内分泌代謝消化器 疾病論Ⅳ腎泌尿器 	小児看護学	<ul style="list-style-type: none"> 小児看護学概論 	小児看護学	<ul style="list-style-type: none"> 方法論Ⅰ 方法論Ⅱ 方法論Ⅲ 				
	健康支援と社会保障制度	<ul style="list-style-type: none"> 保健医療福祉論 	母性看護学	<ul style="list-style-type: none"> 母性看護学概論 	母性看護学	<ul style="list-style-type: none"> 方法論Ⅰ 方法論Ⅱ 方法論Ⅲ 				
専門分野	基礎看護学	看護学概論	2年次	精神看護学	精神看護学	精神看護学	統合と実践	臨地実習		
		共通基本技術Ⅰ コミュニケーション・感染対策ほか		疾病の成り立ちと回復の促進					<ul style="list-style-type: none"> 疾病論Ⅴ 血液造血器 免疫アレルギー 皮膚 歯 疾病論Ⅵ 運動器 脳神経 耳鼻咽喉 眼 薬理学 治療論Ⅰ 検査麻酔手術 放射線 ME 治療論Ⅱ 食事と栄養 治療論Ⅲ リハビリテーション 	<ul style="list-style-type: none"> 方法論Ⅰ 方法論Ⅱ 方法論Ⅲ
		共通基本技術Ⅱ ヘルスアセスメント		健康支援と社会保障制度					<ul style="list-style-type: none"> 公衆衛生学 関係法規 社会福祉論 	<ul style="list-style-type: none"> 医療安全と看護
共通基本技術Ⅲ 環境調整 活動・休息援助ほか										
日常生活援助技術Ⅰ 食事・排泄援助技術										
日常生活援助技術Ⅱ 清潔・衣生活援助										

3年間で修得する
単位数・時間数

105 単位 3030 時間

講義	82 単位	1995 時間
臨地実習	23 単位	1035 時間

1/3 は臨地実習

看護師国家試験対策

本学院では、国家試験合格率100%を目指し、1年次より様々な国家試験対策を実施しています。外部の講師を招いての特別講義を始め、模擬試験、勉強合宿等を行っています。

国家試験合格に必要な学習を、3年間に渡って確実に積み上げながら、看護師になりたいという夢を叶えます。学生ひとり一人に合わせたきめ細かな対応により、必ず看護師になれるよう学習支援を行っていきます。

看護師国家試験合格率

国家試験	受験者数	合格者数	合格率	全国平均
第104回	35	35	100%	89.4%
第105回	35	35	100%	89.8%
第106回	36	34	94.4%	88.5%
第107回	41	41	100%	91.0%
第108回	37	36	97.3%	90.0%
第109回	35	33	94.3%	89.2%
第110回	40	39	97.5%	90.4%
第111回	36	35	97.2%	91.3%
第112回	42	39	92.9%	90.8%

国家試験対策

チームリーダー 柴田 守



<竹のように折れずにクラスで支え合い最終的に国試合格に到達>

1年次

「基礎知識の習得」と「継続的学習習慣の獲得」を目標に、国試対策ドリル・ワークによる定期的な学習と、担任からの学習チェック・指導を実施する。国家試験対策講義、勉強合宿の他、後期には、基礎知識確認のための模擬試験を実施し、「国家試験につながる基礎固め」を行う。

2年次

国家試験対策講義の他、担任の指導による看護師国家試験問題集を使った「国試対策ノート学習」へ取り組む。定期的に国家試験問題を解きながら出題形式に慣れ、「調べ学習」や「解説学習」のスキルを身につけ、3年次の国家試験対策学習に必要な「自己学習力」と「継続性」「集中力」の形成につながる取り組みを行う。

3年次

専門の外部講師による特別講義の他、学内教員による補講を出題基準に沿って頻出項目を取り上げながら実施する。また、定期的な全国模試の実施（計10回程度）により、知識の確認と、全国偏差値による自己の成績の確認、弱点領域の明確化を行う。この他、少人数またはマンツーマンの個別学習等を実施し、全員合格を目指す。

年間スケジュール

4月

- ・入学式
- ・学院創立記念日

5月

- ・健康診断
- ・文化講演会

6月

- ・戴帽式
- ・国家試験対策特別講義

7月

- ・防災訓練
- ・オープンキャンパス

8月

- ・国家試験対策特別講義
- ・勉強合宿

9月

- ・前期単位修得試験

10月

- ・しらかみ祭
- ・オープンキャンパス

11月

- ・推薦入試
- ・社会人入試

12月

- ・ケースレポート発表会
- ・国家試験対策特別講義

1月

- ・一般入試一次募集
- ・国家試験対策特別講義

2月

- ・看護師国家試験
- ・一般入試二次募集
- ・就職説明会

3月

- ・後期単位修得試験
- ・一般入試三次募集
- ・卒業式



入学式



講義



地域・在宅看護論実習



ボランティア活動



戴帽式 (2年次生)



特別講義



学院祭 (令和4年はオンライン開催)



卒業式

オープンキャンパス



2023年度
開催日程

・7/29 (土)
・10/21 (土)

学院祭と同時開催

※変更になる場合がございます。
詳細はホームページ
でご確認ください。



秋田しらかみ看護学院消防団の紹介

令和元年5月「秋田しらかみ看護学院 消防団」を結成いたしました。「知識・技術・若さ」を活かして地域貢献、地域の活性化に繋げることを目的に活動を行っています。主な内容は、「研修参加」・「P.R参加」・「企画参加」等で、学業に支障をきたさない範囲で活動しています。入団員数は（R4年4月現在）2年生が27名、1年生が22名、合計49名。地域の方と触れあい、地域の防災活動を知る良い機会になっています。



地域ボランティア活動

本学院では、課外活動の一環として、多くの地域ボランティアに参加しています。各施設でのイベントへ積極的に参加し、地域の方々と交流しています。最近では、能代市の代表的な祭り「天空の不夜城」への参加や、支援学校の「運動会」・「学校祭」、地域振興局の「献血」・「薬物乱用防止活動」、消防署の「緊急消防援助隊北海道東北ブロック合同訓練」への参加が挙げられます。

昨年は地域の新型コロナウイルスワクチン集団接種会場での介助ボランティアにも参加しました。



学内演習

すべてモデルを使用して学習しています

講堂



施設・設備

保健・医療・福祉の現場で、確実に対応できる看護技術を身に付けるために、学院では最新の設備と器機をそろえています。



基礎看護実習室



在宅看護実習室



図書室



OA教室

実習施設

本学院では、より多くの実践経験を積むことができるよう、様々な施設での実習が用意されております。

実習施設一覧

- ・能代厚生医療センター
- ・JCHO 秋田病院
- ・能代第一保育所
- ・能代第四保育所
- ・コスモス事業所
- ・秋田県立能代支援学校
- ・とらいあんぐる
- ・山本訪問看護ステーション
- ・北秋訪問看護ステーション
- ・湖東訪問看護ステーション
- ・訪問看護ステーション松峰園
- ・能代市役所
- ・能代ふれあいデイサービスセンター
- ・能代緑町デイサービスセンター
- ・友楽苑
- ・JCHO 秋田病院附属介護老人保健施設
- ・能代市北地域包括支援センター
- ・能代市本庁地域包括支援センター
- ・小規模多機能型居宅介護事業所 松峰園
- ・サンビレッジ清風のしる
- ・ケアビレッジ燦々デイサービスセンター
- ・デイサービスセンター清風のしる
- ・ショートステイ たんぽぽ
- ・デイサービス みんなの家
- ・能代市農業技術センター
- ・東北電力 能代火力発電所
- ・浄城幼稚園・ていじょう保育園
- ・株式会社テラタ バイパス店
- ・夢工房 咲く・咲く
- ・たけちゃんサロン



【実習施設】秋田厚生連 能代厚生医療センター



【実習施設】JCHO秋田病院

学納金(推薦入学、一般入学、社会人入学共通)

入 学 金	300,000 円 (初年度のみ)
授 業 料	600,000 円
施 設 整 備 費	300,000 円

その他年額300,000円程度を別途納入(各学年毎に学事経費として納入)3年次は年度末に残金を返金。

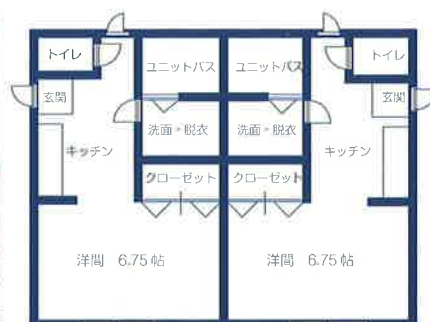
奨学金

給付型	名 称	給 付 月 額	対 象	返 還		
	日本学生支援機構	(自宅通学) 最高 42,500 円 (自宅外通学) 最高 75,800 円	経済的に修学が困難な者	なし(給付)		
貸与型	日本学生支援機構	第1種	(自宅通学) 最高 53,000 円 (自宅外通学) 最高 60,000 円 または2万円～5万円 (1万円単位)から選択 ※ただし5万円は自宅外通学のみ	無利子	経済的に修学が困難な者	卒業後 13～14年以内
		第2種	2万円～12万円 (1万円単位)から選択	有利子		卒業後 12～20年以内
	秋田県看護職員 修学資金	36,000 円	無利子	卒業後秋田県内の免除対象施設に勤務する意思のある者	県内の免除対象施設で5年勤務の場合免除	

学生寮(アパート形式)

本学院では、自宅から離れて生活する学生のために、学生寮を用意しています。学院まで徒歩5分の位置にあり、プライバシーを守れる個室のアパート形式。全室冷暖房完備、バス・トイレ・BSアンテナ付きの快適空間です。

※食事は自炊となります。



名 称	コーポアイリス	面 積	木造2階建て
所在地	能代市落合	間取り	1K
種 類	アパート	家 賃	38,000 円
構 造	26.09 m ²		

科目担当教員

成人看護学

科目担当 教務主任 中村 陽子



精神看護学

科目担当 柴田 守



小児看護学

科目担当 田中 多喜子



基礎看護学

科目担当 佐藤 雅子



在宅看護論

科目担当 杉本 史



成人看護学

科目担当 加藤 夏生



看護の統合と実践

科目担当 山平 良子



老年看護学

科目担当 鍋谷 久美子



実習指導

科目担当 宮腰 美穂子



卒業生の声

22期生
金子 蓮
JCHO秋田病院 勤務



コロナ禍により入院患者さんは家族との面会が制限されていますが、患者さんとその家族の架け橋になれるように、また安心して入院生活が送れるようにケアすることを心がけ日々精進しています。

22期生
櫻山 葵花
秋田県立循環器・
脳脊髄センター 勤務



春から HCU・救急に配属になりました。脳疾患・心疾患・脊髄脊椎疾患の手術後の患者さん、緊急入院してきた重症な患者さんの看護を行うことが多く忙しい毎日ですが、その分やりがいを感じ充実した日々を送っています。看護師としてはまだまだ未熟ですが、先輩方からたくさんのことを学び、新しいことを一つ一つ覚えられるように頑張っています。

22期生
佐藤 綾音
秋田県立循環器・
脳脊髄センター 勤務



私は循環器と脳外科、脊髄外科の急性期病棟で勤務しています。重症度の高い患者さんから自立している患者さんまで入院していて、忙しい毎日ですが少しずつ業務を覚えるように頑張っています。患者さんの気持ちへ寄り添い、安心のある看護を行えるように毎日頑張っています。

22期生
佐藤 礼那
能代山本医師会病院
勤務



友人と共に勉強し合い先生方の応援のおかげで試験に合格することが出来ました。コロナ禍で、臨床の実習を十分に経験することが出来ず不安を抱えたまま働き始めましたが、現在は優しい先輩達の指導や温かいサポートのおかげで学びを深め、看護師としてのやりがいを感じています。

22期生
長岡 美月
能代厚生医療センター
勤務



カテーテル治療やオペ出し、検査搬送、日々のケアなどで毎日忙しいですが充実した毎日を過ごしています。日々学ぶことが多く、大変な時もありますが、プリセプターをはじめ先輩方に見守られながら楽しく患者様に看護を提供させていただいています。

22期生
日沼沙也香
JCHO秋田病院 勤務



毎日できることが増えるように積極的に頑張っています。そして、患者さんが希望するケアができるようになり、患者さんの笑顔に触れ、やりがいを感じています。

進学 (令和5年度)



23期生
橋本 梓
秋田県立衛生看護学院
助産科 進学

卒業時の取得可能資格

- 看護師の国家試験受験資格が得られます。
- 保健師、助産師学校及び養護教諭課程（1年課程）の受験資格が得られます。
- 専門士の称号が得られます。
- 4年生の看護大学、または、その他の編入学を認めている大学への編入学の資格が得られます。

卒業生の主な進路

就職

県内

【秋田県】 能代厚生医療センター、秋田厚生医療センター、かづの厚生病院、湖東厚生病院、大曲厚生医療センター、由利組合総合病院、北秋田市民病院、平鹿総合病院、雄勝中央病院、JCHO秋田病院、能代山本医師会病院、秋田大学医学部附属病院、大館市立総合病院、市立秋田総合病院、秋田赤十字病院、男鹿みなと市民病院、公立横手病院、本荘第一病院、今村病院、秋田緑ヶ丘病院、公立角館総合病院、県立循環器・脳脊髄センター、あきた病院、秋田労災病院、外旭川病院、藤原記念病院、中通総合病院、横手市立大森病院、島田病院、杉山病院、森岳温泉病院

県外

【東京都】 順天堂大学附属病院、東京医科歯科大学附属病院、慈恵会医科大学附属病院、日本医科大学附属病院、東京女子医科大学病院、東京大学医学部附属病院、東京医科大学病院、有明病院【北海道】 日鋼記念病院、札幌麻生脳神経外科病院、札幌東徳州会病院【山形県】 庄内余目病院、酒田市立病院【青森県】 弘前大学医学部附属病院、むつ総合病院【岩手県】 岩手医科大学病院、盛岡友愛病院【宮城県】 東北大学附属病院、仙台厚生病院【千葉県】 千葉大学医学部附属病院、日本医科大学附属千葉北総合病院、順天堂大学浦安病院【栃木県】 上都賀総合病院、国際福祉病院【神奈川県】 日本鋼管病院、東海大学医学部附属大磯病院、横浜市立大学付属病院、聖マリアンナ医科大学病院、湘南鎌倉総合病院【群馬県】 草津病院【埼玉県】 埼玉医科大学付属病院、戸田中央総合病院【静岡県】 国際医療大学附属熱海病院、順天堂大学医学部附属静岡病院 他

進学・編入学

県内

【秋田県】 県立衛生看護学院（保健科・助産科）、秋田大学（医学部保健学科）

県外

【青森県】 弘前大学（医学部保健学科）【宮城県】 宮城大学【群馬県】 桐生短期大学（助産科）【岩手県】 岩手看護短期大学（地域看護学科）【北海道】 北海道医療大学（看護福祉学部看護学科）【山形県】 山形大学（養護教諭特別別科）



学内就職説明会

本学院では、県内の病院と医療機関を招き、毎年冬季に学内での就職説明会を実施しています。



秋田しらかみ看護学院

〒016-0014 秋田県能代市落合字下恵土120
 (代表) TEL 0185-89-1900 FAX 0185-89-1910
 URL <http://www.asnursing.ac.jp/>
 E-Mail info@asnursing.ac.jp

